

原稿作成要項 Ver.1

【調査方法】

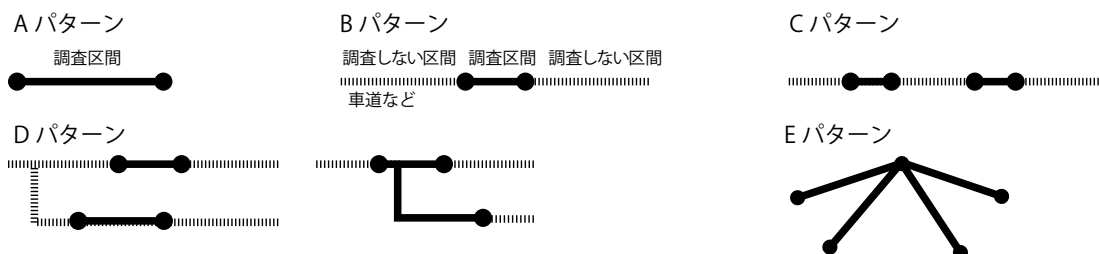
- ①実地調査：ルート、古道の現状、史跡、景観、自然、施設、スポットなど／写真撮影（動画）／GPS 取得
※神社、寺、本陣、牛方宿、蔵、宿坊などについては現地でその歴史や特徴がわかれば調べてきていただくと助かります。（文献で調べられるものは無理に調べなくても結構です）
- ②取材調査：学芸員・教育委員会などの研究者、住職などへの聞き取りや図書館サービスなど
- ③文献や Web などでの調査：歴史、文化、自然環境、施設、および上記の確認

【ホームページや書籍に記載する道】

記載は、一般の方が歩ける道が中心になります。歩けない道、危険な道は、地図では点線で表記し、事情によっては地図上に記載せず、文章で表現してください。

【古道の調査パターン】

- ・ A パターン：古道全部 = 調査範囲が出発地点から到着地点まで
- ・ B パターン：古道の一部 = 調査範囲が古道全体の一部であるとき（街道の山岳部分など）
- ・ C パターン：古道の一部 = 調査範囲が古道全体の一部が複数あるとき（峠など）
- ・ D パターン：複数の古道 = 関係する古道が複数あり、調査範囲が複数あるとき（時代による遷移など）
- ・ E パターン：1 点に集まる複数の古道 = 関係する古道が複数あり、調査範囲が複数あるとき（参詣道など）

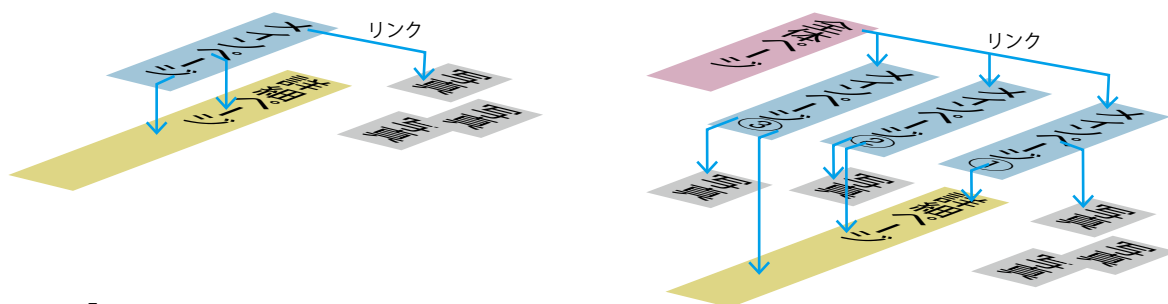


【HP の構成イメージ】

HP デザインは未定です。

A、B、(C) パターン

(C)、D、E パターン（メインページのみ複数）



【文章について】

- ①できるだけ、デジタル原稿（Word など）での入稿をお願いします。
- ②入稿後、本部 PT で原稿を整理し、それを確認していただくこととなりますので、追加原稿などがありましたら、そのときお願いします。なお、HP へのアップ後も随時修正を行っていきます。

- ③当会で発行する出版物、HPなどに掲載する際は、原則として著作権を放棄してください。**パブリックドメイン**といたします。
- ④メインページは、ガイドブック的な文体イメージをお願いします。
- ⑤メインページは、**ですます調**、それ以外は**である調**を考えています（原稿段階ではこだわりません）。
- ⑥一般の方が対象ですので、学術的な難しい用語はなるべく避けてください。
- ⑦西暦と和暦は併記してください。例えば、「807年（大同2年）」。大化以前は西暦のみで。
- ⑧文として書かず箇条書きにしても結構です。箇条書きにしたものを本部PTでリライトします。

【調査内容と原稿】

1. メインページ、全体ページ

D、Eパターンは、メインページは古道の数だけ作成ください（Cは状況に応じ、どちらのパターンでも可）。また、複数の古道をまとめて、ひとつのメインページで扱うのも可。

※ [必須]とあるところ以外、書く書かないは執筆担当者にお任せします。本部PTで書くこともあります。

- (1) **[必須]** **地図とポイントの明記**:歩いたルートや撮影地、ポイントなどを地形図に記入してください。【見本1】参照。
- (2) リード
- ① A、Bパターンのリードは1か所で、200～400字。【①】
- ② C～Eパターンのように複数の古道をまとめているときは、全体のリードと、それぞれの古道のリードを用意してください。全体のリードは200～400字【①】、個々の古道のリードは100～200字。【②】
- (3) **[必須]** 古道のルート『古道を歩く』【③】
- （目安は、1500～3000字/日程度＝本部PTでリライトするので字数にはこだわりません）
- 出発点から経由地を通して終着点まで。それを見て、歩くことができるような**ガイドブック的な原稿**。歩く時間が複数日に及ぶ場合は、「1日目」「2日目」と区切って書いてください。
- 《入れてほしい内容》ただし全部入れる必要はありません。ポイントポイントに絞る。書ききれないものは詳細ページに
- ・道の状態：歩きやすい、歩きにくい、急な（もしくは緩やかな）登り、下り、舗装、簡易舗装、土の道、道型がはっきりしている、つづら折り、明瞭、地元の有志によって整備されている、草生している、分岐…など道の様子が目に見えるように
 - ・地形：尾根、沢、峠、斜面、山頂、湖、池、窪地、砂礫地、岩場、おおよその標高差など
 - ・周囲の植生：杉林、カラマツ林、開けた草原、荒地、湿原、広葉樹林、ブナ林、照葉樹林、など
 - ・人工物のポイント：石仏、庚申塔、祠、神社、寺、古民家、蔵、廃屋、橋、丸木橋、道標、梯子、鎖など
 - ・自然物のポイント：沢、川、小川、滝、鞍部、岩、岩壁、その場所を特徴づける植物など
 - ・景観のポイント：展望地、美しい眺め、眺めの先に見えるもの、美しい紅葉など
 - ・その古道の特徴をよく伝えるポイント：昔の武将が休んだ石、馬をつないだ石、修験者や僧侶が修行を積んだ岩窟や岩、特筆すべき難所など
 - ・その古道の魅力をよく伝えるポイント
- ※今は歩けない場所、歩くのが困難な場所についてはその理由と位置の確認
- ※（場合によっては）調査の方法
- (4) **[必須]** 『この古道を歩くにあたって』 注意点などがあれば（歩行難度など）。ない場合は、「ハイキングコース」とか、「家族登山向き」などを明記してください。【④】
- (5) **[必須]** 古道の概要『古道を知る』（下記を全部合わせて目安は500～2000字程度＝本部PTでリライトするので字数にはこだわりません）【⑤】

《記載する要素》

- ・ 古道の特徴
- ・ もっともアピールできる魅力
- ・ 古道の目的（例えば修験の道など）
- ・ 関わった人物（いれば）
- ・ 古道が歩かれていた時代とその背景（歴史や出来事など）
- ・ 古道の文化、信仰など
- ・ （場合によっては）古道の位置の変遷

2. 詳細ページ

(6) ①『深掘りスポット』【⑥】

メインページで紹介できなかったことを書いてください。

場所（訪れることが可能な）や品物を中心としたもの。

名所、遺跡、遺物、石碑、磐座、墓、寺院、奇石、巨樹、滝、花の群生、展望、温泉など。

それぞれテーマごとに書いてください。テーマが複数の場所や品物などの場合は、『ミニ知識』に。

②『おすすめスポット』【⑦】

テーマにした街道や古道、あるいは山域などを展示紹介した場所。またはそれに関わる遺跡・遺物などを見ることができる場所。内容まで踏み込んで紹介する場合は、①でもいい。

- ・ 歴史館、郷土館、資料館、ビジターセンターなどの紹介（正式名称、所在地、URL）
- ・ 遺跡や古民家、寺院、宿坊などの紹介（正式名称、所在地、URL）
- ・ その他、ケーブルカー、温泉、牧場など特筆すべき施設（正式名称、所在地、URL）

(7) 『ミニ知識』は (6) 以外のもの。次のようなものがあります。【⑧】

- ・ 歴史、文化、出来事、信仰、祭、祭、伝統芸能、伝統技術、風習など。
- ・ 戦、律令、敗路、祭祀、修験、寺院、参詣、交易、市、生活、探検、調査、観光
- ・ 地名の由来、歴史的地名
- ・ 自然環境（季節、地形、地質、植生、動植物、雪や風、地震・噴火・崩落など）
- ・ 古道に関わった人物、集団：プロフィール、ストーリー、足跡
- ・ 社会的活動：自然保護活動など

※石碑や石仏、祠などについてはできれば刻まれている文字を読んできたいと思いますが、どうしても読めないことがあるので、その場合は無理に読まなくても結構です。

※カテゴリー (6) と (7) の違い。おおよそ、(6) = モノ、(7) = コト。

(8) 『古道にまつわる話』あるいは「××山にまつわる話」「××地区にまつわる話」【⑨】

伝説、民話、物語など

※資料によって、同じ話なのに細部が違います。原稿は次の方法で書いてください。

- ① それぞれを勘案しながらまとめる。
- ② 代表的なものを引用する（この場合は著者の許諾が必要です）。
- ③ 取材する。

(9) [必須] 『ルート図』歩行時間・距離（全体だけではなく、ポイントとポイントの間についても）。歩行スピードは山と高原地図に準拠。複数支部などで分担した場合は、歩行スピードは統一する。歩く時間が複数日に及ぶ場合は、「1日目」「2日目」と区切って書いてください。【⑩】

なお、見本では登り下りの時間を記していますが、調査は片道でも結構です。登り（あるいは下り）の調査をしたら、その時間に基づいて下り（あるいは登り）の時間を推測して書いていただいて問題あり

ません。

- (10) **【必須】**『アクセス』古道へのアクセス（公共交通利用の場合は、鉄道、バス、タクシーなど。マイカー利用の場合は、駐車場、道路の閉鎖時期など）**【⑪】**
- (11) **【必須】** 参考文献の書名、著者、出版社、閲覧できる図書館、HP の URL などのデータ **【⑫】**
- ① 調査をするにあたって、原稿を書くにあたって、参考にした文献（HP 含む）
 - ② 引用文献
 - ③ 一般の人に、古道を歩くにあたって参考にしてほしい文献
 - ④ 古地図、古文書、絵図、絵画など
- (12) その他
- 調査にあたってお世話になった人などに謝辞をする場合は、その旨、原稿に記載ください。対応します。

【写真原稿など】

※当会で発行する出版物、HP などに掲載する際は、原則として著作権を放棄してください。パブリックドメインといたします。

※写真や図版などは**デジタルデータ**でお送りください。オンラインストレージを利用すると容量無制限で送ることができます（firestorage など、無料）。できるだけファイルにまとめてください。

●写真（【見本 2】参照）

写真の枚数：道の長さにもよりますが、1日ルートで 20～50 枚程度。キャプション等を付けてもらうので、あまり負担にならない程度で結構です。

- ・道標、石仏、石碑、祠、神社、寺、古道（特徴のある場所、魅力的な場所）、分岐、景観、展望
- ・人の生活がわかるもの（田んぼ、畑、農家）、その古道の魅力を最もよく表現する場所
- ・調査風景（山行風景）
- ・キャプション、撮影者、撮影日、天気、位置の情報を必ずつけてほしい

※当面は HP 用ですが、書籍を作成する場合は、画像解像度 350pixel/inch が必要です（目安＝左右寸法 150mm だと 2000 ピクセル。100mm だと 1500 ピクセル）。HP 用は画像解像度 72pixel/inch

- ①写真の番号（できるだけ通し番号で。ファイル名も同じに）
- ②写真のタイトル（キャプション）
- ③写真の簡単な説明
- ④撮影場所、撮影者
- ⑤（過去の撮影であれば）撮影日
- ⑥（必要であれば）借用した場合、著作権、クレジット
- ⑦その他

●動画：

どのように扱うか検討中です。道のようすや調査のようすなど、撮影をしておいていただけると、助かります。

●図版原稿（地図、グラフ、図形、イラストなど）

※ jpeg、photoshop、Illustrator もしくは手書きでの入稿をお願いします（花子不可）。

※原則、原稿を元に編集チームで作成し直します。

- ①図版の番号（できるだけ通し番号で。ファイル名も同じに）
- ②図版のタイトル（キャプション）
- ③説明
- ④引用元文献（記載が必要であれば）

- ⑤著作権、クレジット（必要であれば）
- ⑥借用した場合（所有者、料金、返却日など）
- ⑦その他
- 表原稿（年表、一覧表、比較表など）
 - ※ Excel、Word での入稿。
 - ※原則、原稿を元に編集チームで作成し直す。
 - ①表の番号（できるだけ通し番号で。ファイル名も同じに）
 - ②表のタイトル（キャプション）
 - ③表の説明（凡例などがあれば含める）
 - ④引用元文献（記載が必要であれば）
 - ⑤その他

【GPS ログ】

- GPS ログ（必ず複数以上）
 - ※ GPX データで送ってください（KML でも可）。GPS を取得すると、どちらかで保存されます。
 - （注）GPX を「@docomo.ne.jp」から送ると壊れることがあると、ジオグラフィカには記されています。
 - ※ GPS の取得は、ガーミンでもスマホでも結構です。ただし、日本の測位衛星「みちびき」の電波を取得できるもの（確認はアプリ「GNSS View」などで）。Android の場合、GPS 位置情報モードを高精度に。
 - ※アプリは、ジオグラフィカでも YAMAP でも結構ですが、記録頻度を多くし、精度を上げてください（「詳細設定」で設定）
 - ※バッテリー消費を節約するためには機内モードに。その場合「位置情報」（iPhone は「位置情報サービス」）を ON。ただし、データ通信（音声、メール）、Wi-Fi、Bluetooth は OFF になります。
- GPS ログの送り方
 - ①古道 1 本ごとにまとめて送ってください（本部での混乱・ミスを減らすため）。一旦、担当者のフォルダーに集めて、できればファイル名を統一して送ってください。
 - ②ジオグラフィカでの送り方
 1. メニューから『ファイル』→『トラック』を開くとトラック管理画面が開く。
 2. 送りたいトラックをタップしてチェックを付ける。
 3. 画面下部のチェックボタンを押す。メニューが表示される（右図）。
 4. 「GPX エクスポート」をクリックするとメーラーが出てくるので、それを利用して送る。
 - ② YAMAP での送り方
 1. YAMAP ウェブサイトにログイン。
 2. 該当の活動日記を開く。
 3. 「軌跡データをダウンロード」をクリックして GPS ファイルを自身のパソコンに保存。
 4. 保存したファイルを送る。
- なお、スマホを使った GPS については、Zoom による講習会を予定しています。
GPS への問合せは永田まで（090-4131-0934）



★「原稿作成要項」についての問合せは、以下にお願いします。

jac-kodo@jac1.or.jp